



2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年10月31日

上場会社名 因幡電機産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 9934 URL <https://www.inaba.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 守谷 承弘

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 家郷 晴行

TEL 06-4391-1781

四半期報告書提出予定日 2018年11月13日

配当支払開始予定日

2018年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	128,570	8.6	7,117	9.3	7,475	12.1	4,956	10.6
2018年3月期第2四半期	118,367	7.5	6,512	20.5	6,670	26.1	4,480	31.4

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 5,167百万円 (13.4%) 2018年3月期第2四半期 5,966百万円 (78.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	177.17	175.84
2018年3月期第2四半期	162.54	161.37

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	187,395	122,274	65.0
2018年3月期	196,414	118,928	60.3

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 121,715百万円 2018年3月期 118,432百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		60.00		80.00	140.00
2019年3月期		70.00			
2019年3月期(予想)				70.00	140.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	270,000	4.6	14,000	4.6	14,200	4.7	9,300	4.9	332.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	28,083,300 株	2018年3月期	27,990,700 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	46,038 株	2018年3月期	45,935 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	27,976,531 株	2018年3月期2Q	27,568,636 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。
 経済状況・市場環境等に係るリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国発の貿易摩擦による影響が懸念されたものの、企業収益が改善するなか、良好な雇用情勢の継続により個人消費が持ち直すなど、緩やかな回復基調が続きました。

当社グループの係わる電設資材業界は、製造業を中心とした設備投資の拡大や首都圏の再開発などにより堅調に推移いたしました。

また自社製品の係わる空調業界は、買い替え需要の高まりや記録的猛暑の影響により、2018年度第2四半期累計のルームエアコンの国内出荷台数が614万台（前年同期比7.3%増）となり、好調に推移いたしました。

このような情勢のなか、当社グループは中長期的な経営戦略に沿って、重点施策を着実に推進するとともに、積極的な営業活動を展開いたしました。

その結果、売上高は1,285億70百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益は71億17百万円（前年同期比9.3%増）、経常利益は74億75百万円（前年同期比12.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は49億56百万円（前年同期比10.6%増）となり、上半期としては過去最高の業績を更新いたしました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<電設資材事業>

銅価格の上昇に伴う販売単価の上昇などにより電線ケーブル類が増収となったほか、首都圏の再開発などを背景に照明器具や発電機の売上が好調に推移した結果、売上高826億30百万円（前年同期比12.2%増）となりました。

<産業機器事業>

半導体関連の一部で設備投資に慎重な姿勢がみられ、電子部品の販売が減少したものの、人手不足に伴う省力化投資需要の高まりを受け、ロボット関連の売上が増加した結果、売上高154億94百万円（前年同期比0.0%増）となりました。

<自社製品事業>

ルームエアコン出荷台数の増加を背景に空調配管化粧カバー「スリムダクトシリーズ」や副資材の売上が伸長したほか、銅価格の上昇に伴う値上げなどにより被覆銅管が増収となった結果、売上高304億44百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の業績予想につきましては、現時点において2018年5月14日公表の業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	58,872	60,400
受取手形及び売掛金	68,008	55,603
電子記録債権	14,077	13,351
有価証券	—	505
商品及び製品	10,637	12,986
仕掛品	305	326
原材料及び貯蔵品	1,568	2,243
その他	1,126	1,274
貸倒引当金	△21	△17
流動資産合計	154,575	146,672
固定資産		
有形固定資産		
土地	12,201	12,199
その他(純額)	8,121	7,831
有形固定資産合計	20,322	20,030
無形固定資産		
のれん	1,326	796
その他	1,251	1,161
無形固定資産合計	2,578	1,957
投資その他の資産		
投資有価証券	17,140	17,076
その他	1,808	1,670
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	18,937	18,734
固定資産合計	41,838	40,722
資産合計	196,414	187,395
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	60,807	48,299
電子記録債務	—	1,996
短期借入金	415	547
未払法人税等	3,121	2,050
賞与引当金	3,771	2,250
役員賞与引当金	180	98
製品保証引当金	60	58
その他	2,820	2,897
流動負債合計	71,177	58,198
固定負債		
退職給付に係る負債	59	58
その他	6,248	6,863
固定負債合計	6,307	6,922
負債合計	77,485	65,120

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,565	13,741
資本剰余金	13,845	14,021
利益剰余金	84,915	87,636
自己株式	△172	△173
株主資本合計	112,154	115,225
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,107	6,278
為替換算調整勘定	170	211
その他の包括利益累計額合計	6,278	6,489
新株予約権	411	474
非支配株主持分	85	84
純資産合計	118,928	122,274
負債純資産合計	196,414	187,395

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	118,367	128,570
売上原価	98,202	107,182
売上総利益	20,164	21,387
販売費及び一般管理費	13,652	14,270
営業利益	6,512	7,117
営業外収益		
受取利息	24	25
受取配当金	172	337
仕入割引	489	496
その他	161	197
営業外収益合計	847	1,057
営業外費用		
支払利息	21	18
売上割引	616	647
その他	50	33
営業外費用合計	689	699
経常利益	6,670	7,475
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	11	—
特別利益合計	12	0
特別損失		
固定資産除却損	4	33
固定資産売却損	0	0
特別損失合計	4	33
税金等調整前四半期純利益	6,677	7,443
法人税、住民税及び事業税	1,971	1,791
法人税等調整額	227	694
法人税等合計	2,199	2,486
四半期純利益	4,478	4,956
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,480	4,956

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	4,478	4,956
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,379	170
為替換算調整勘定	108	40
その他の包括利益合計	1,487	211
四半期包括利益	5,966	5,167
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,968	5,167
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	△0

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分の「その他」に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計
	電設資材事業	産業機器事業	自社製品事業	
売上高				
外部顧客への売上高	73,642	15,489	29,234	118,367
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,064	500	1,673	3,238
計	74,707	15,990	30,908	121,605
セグメント利益	1,705	803	5,887	8,397

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,397
セグメント間取引消去	102
全社費用(注)	△1,580
その他の調整額	△241
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益	6,677

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計
	電設資材事業	産業機器事業	自社製品事業	
売上高				
外部顧客への売上高	82,630	15,494	30,444	128,570
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,028	544	1,962	3,535
計	83,659	16,039	32,406	132,105
セグメント利益	2,007	708	6,254	8,971

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,971
セグメント間取引消去	121
全社費用(注)	△1,533
その他の調整額	△116
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益	7,443

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。